

里山林整備した事例

事業名：里山林整備事業

市町名：熊野町

取組のきっかけ・経緯

- 手入れが不十分なことで、景観が悪化しているだけでなく、倒木の危険が増していったことや野生生物が人里近くまで活動域を広げる要因となっていた。

今後の展開

- 地域住民が参画して下刈り等を行う等、里山林の保全意識向上に向けた取組を進める必要がある。

取組の内容

- 事業主体：熊野町
- 実施場所：神田地区外1箇所
- 業務委託先：森林組合等
- 業務量：0.2ha
- 業務金額：3,208,000円
- 業務期間：令和6年11月
～令和7年2月

取組後の感想

【良かった点】

- 景観が向上した。
- 野生生物の隠れ場となり得た状況が解消された。

【悪かった点】

- 行政主体の実施事業のため、地域で森林を保全するという意識には結びつかなかった。

【整備前】



【整備後】

